

問1 「防災への心がまえ」をテーマにした調べ学習において、災害による被害を最小限に抑えるために、各家庭で事前に取り組むべき活動の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 避難経路の確認を行い、家具の転倒防止器具を設置した上で、家族との連絡方法をあらかじめ決め、数日分の食料を備蓄する。 | 2. 商店が多いため食料の備蓄は行わず、その代わりに避難所での生活を快適にするための大型家電を非常持ち出し袋に準備する。 | 3. 地震の揺れによる家具の転倒は防げないため対策は行わず、災害が発生した後にテレビやインターネットで初めて避難場所を調べる。 | 4. 家族との連絡方法は災害が起きてから公衆電話を探すこととし、備蓄については賞味期限が切れるのを防ぐために一切行わない。 |
|--|--|---|---|

問2 日本の東方海上を千島列島に沿って北から南へと流れる寒流は、プランクトンを豊富に含み、魚を育てる親のような役割を果たすことから何と呼ばれますか。別名とともに正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 岡山公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------|----------|
| 1. 親潮 (千島海流) | 2. 黒潮 (日本海流) | 3. 対馬海流 | 4. リマン海流 |
|--------------|--------------|---------|----------|

問3 災害時の防災対策において、地形図から「標高」や「地形」の情報を読み取り、避難所を選定する目的として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 鳥取公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1. 津波や洪水による浸水被害を避けるため、安全な高さにある場所を特定すること | 2. 土砂崩れの危険を避けるため、等高線の間隔が最も狭い急斜面を避難先にする | 3. 地盤沈下を防ぐため、埋立地などの標高が低い場所の面積を算出すること | 4. 避難経路を短縮するため、高低差のない海岸付近の平地を優先的に確保すること |
|---|--|--------------------------------------|---|

問4 日本の河川が持つ「長さが短く、流れが急である」という特色は、日本の気候や地形と深く関わっている。この特色が日本人々の生活や自然災害に与える影響についての記述として、最も適切なものはどれか。 (2018年 京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 大雨が降ると短時間で水位が急上昇し、洪水が発生しやすい | 2. 流れが緩やかなため、内陸部まで大型船を利用した水上交通が発達しやすい | 3. 河口付近で流れが非常に穏やかになるため、大規模な三角州が形成されやすい | 4. 年間を通じて水量の変化が非常に少なく、安定した発電が可能である |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------------|

問5 熊本県などの九州地方と、新潟県などの日本海側に位置する地域の冬 (12月~2月) の気候を比較したとき、新潟県側で日照時間が著しく少なくなる理由として、地理的な背景から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水蒸気を蓄えて雪や雲をもたらすため | 2. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、高い山々を越える際に水分を失い、乾燥した空気が流れ込むため | 3. 暖流である日本海流 (黒潮) の影響を強く受け、冬の時期に海上で発達した低気圧が停滞しやすいため | 4. 山地を越えて吹き降りるフェーン現象が発生しやすく、地表付近の気温が上がって雲が発達しやすいため |
|---|---|---|--|

問6 地形図上の特定の二点を結ぶ直線に沿って、土地の起伏や標高の変化を横から見た形で表現したグラフを何といいますか。最も適切な名称を選択してください。 (2017年 山口公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| 1. 地形断面図 | 2. 等高線図 | 3. 鳥瞰図 | 4. 階級区分図 |
|----------|---------|--------|----------|

問7 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に知らせるために作成された地図を何といいますか。 (2020年 静岡公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|--------|--------|---------|
| 1. ハザードマップ | 2. 地形図 | 3. 路線図 | 4. 等高線図 |
|------------|--------|--------|---------|

問8 日本のような中緯度の大陸東岸で見られる、夏と冬で吹く方向が反対になる風を何といいますか。この風は、冬はシベリア大陸から、夏は太平洋から吹き、日本の気候に大きな影響を与えます。 (2018年 岐阜公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 季節風 | 2. 偏西風 | 3. 貿易風 | 4. 海陸風 |
|--------|--------|--------|--------|

問9 都市部で発生するヒートアイランド現象の主な要因を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. アスファルトやビルが太陽光の熱を蓄えやすく、さらにエアコンや自動車からの排熱が密集するため | 2. 温室効果ガスの濃度が上昇し、地球全体で熱が放出されにくくなるため | 3. 偏西風の影響が弱まり、太平洋高気圧が日本付近で停滞し続けるため | 4. 大規模な森林伐採により保水力が失われ、地面が乾燥して砂漠化が進むため |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 避難経路の確認を行い、家具の転倒防止器具を設置した上で、家族との連絡方法をあらかじめ決め、数日分の食料を備蓄する。	防災対策は、発生した際の「行動」だけでなく、発生前の「準備」が重要です。ハザードマップ等を用いた避難経路の確認、負傷を防ぐための家具の固定、安否確認手段の共有、そしてライフラインの停止に備えた食料の備蓄など、多角的に備えることが生存率を高めることにつながります。
問2	答え 1 親潮（千島海流）	日本の太平洋側を南下する寒流は、千島列島付近から流れてくるため千島海流と呼ばれます。この海流は栄養塩が豊富でプランクトンが多く発生し、魚類にとっての「親」となることから親潮という俗称が定着しました。一方で、南から北上する暖流は黒潮（日本海流）と呼ばれます。
問3	答え 1 津波や洪水による浸水被害を避けるため、安全な高さにある場所を特定すること	地形図の等高線は、海面からの高さである標高を示しています。大規模な浸水被害が想定される災害では、平地や埋立地は危険なため、標高の高い場所をあらかじめ確認しておく必要があります。このように、地形図から得られる土地の高さや形状の情報を分析することは、地域の特性に応じた防災計画を立てる上で不可欠な作業です。
問4	答え 1 大雨が降ると短時間で水位が急上昇し、洪水が発生しやすい	日本の川は傾斜が急であるため、梅雨や台風による大雨が降ると、降った雨が短時間で一気に下流へと到達します。このため、水位が急激に上昇して氾濫や洪水を引き起こしやすいという性質があります。また、この急流を利用して古くから水力発電が行われてきましたが、同時に土砂を削り運ぶ力も強いので、上流部では扇状地などの地形が発達しやすくなります。
問5	答え 1 シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水蒸気を蓄えて雪や雲をもたらすため	日本の冬の気候は、大陸から吹き出す北西の季節風に強く影響されます。この季節風が日本海を渡る際に、海面から蒸発した水蒸気を多く含み、日本の山脈にぶつかると日本海側に雪や雲をもたらします。そのため、新潟県などの日本海側の地域では、冬場も比較的晴天に恵まれる熊本県などと比較して、12月から2月にかけての日照時間が大幅に減少するという特徴があります。これは「日本海側の気候」の典型的な傾向です。
問6	答え 1 地形断面図	地形図に描かれた等高線の数値を読み取り、縦軸に標高、横軸に距離をとってグラフ化することで、実際の土地の傾斜や起伏を視覚的に捉えることができます。等高線そのものを描いた地図や、上空から斜めに見下ろした鳥瞰図、統計データを色の濃淡で示した階級区分図とは、作成の目的や表現方法が異なります。
問7	答え 1 ハザードマップ	災害が発生した際の被害予測（浸水する範囲や土砂災害の危険性など）と、避難に関する情報を1つの地図にまとめたものです。住民が事前に地域の危険度を把握し、迅速な避難行動につなげる役割を持っています。
問8	答え 1 季節風	日本はユーラシア大陸の東側に位置しているため、大陸と海洋の温まりやすさの差によって生じる気圧の変化の影響を強く受けます。冬は大陸から冷たく乾燥した北西の風が、夏は太平洋から高温多湿な南東の風が吹くのが特徴です。
問9	答え 1 アスファルトやビルが太陽光の熱を蓄えやすく、さらにエアコンや自動車からの排熱が密集するため	舗装された道路やコンクリート製の建物は、土の地面に比べて日中の熱を保持しやすく、夜間になっても冷えにくい性質があります。また、都市部ではエネルギー消費が激しく、冷房や交通機関からの排熱が滞留することも、周辺部との気温差を生む大きな原因となっています。